



市小だより第9号

平成29年7月19日
長久手市立市が洞小学校



蒸し暑い日が続きますが、子どもたちは暑さに負けず、元気いっぱい学校生活を送っています。1学期も明日までとなりました。全校児童1127名、大きな事故もなく、無事に夏休みを迎えることができました。これも保護者の皆様のご協力のおかげと感謝しております。21日からの夏休みを楽しく有意義なものにさせたいと思います。ご協力をよろしくお願いします。



PTAあいさつ運動

PTAあいさつ運動が7月10日（月）～14日（金）に行われました。たくさんのPTAの方に協力していただき、指令台前に並んで行いました。また、あいさつ委員や児童会の子どもたちも参加し、一緒になってあいさつ運動を行いました。



このあいさつ運動を通して、声を出してあいさつできる児童が増えてきました。引き続きあいさつの必要性、大切さについて学校でも指導していきますので、ご家庭でも折に触れ、声を掛けていただくようお願いします。

なお、PTAでは2学期、3学期も各1回『あいさつ運動』を予定しています。多くの保護者の皆様の参加をお願いします。

さあ、夏休み

夏休みには、いつものような日課や時間割がなく、自分で自由に計画することができます。夏休みにしかできないことを考えて、自分から進んで挑戦するものを決め、取り組ませてください。また、学校中心の生活から家庭中心の生活に変わり、親子ふれあいの時間が多くなることと思います。どのご家庭におかれましても、無理なく充実した夏休みとなるよう願っています。



各学年のひとコマ（高学年）

各学年とも、いろいろなところを見学したり、講師を招いて体験したりしました。

【4年 浄水場見学】



【5年 陶芸体験】



【6年 茶の湯体験】



出校日	8月21日（月）	登校	通常通り	下校	11:00
2学期始業式	9月1日（金）	登校	通常通り	下校	10:55

人権の花贈呈式について

6月14日に、園芸委員と児童会役員が中心となって植えた花の苗を学区の福祉施設に寄贈する、花贈呈式が7月6日（木）に行われました。学校を代表して、児童会役員3名が育ててきた花を渡しました。福祉施設の方にも喜んでいただきました。

この活動を通して、地域に貢献して人権尊重の意識を高めることができました。



登下校の様子について

市小だより第8号でも少しふれましたが、本校の登下校の様子について、地域の方、保護者の方、交通指導員から、次の報告を受けています。

- ① 朝の登校では、きちんと並んで登校することができない。また、朝の集合時間に間に合わず、分団から遅れて学校に来ている。
- ② 登下校において、班長など上級生に注意されたとき、しっかりと言うことを聞けていない。
- ③ 下校するとき、先生や交通指導員がいなくなった後、仲のよい子と並んだり、勝手に走って帰ってしまったりして、しっかりと並んで帰ることができていない。
- ④ 自転車に乗るとき、ヘルメットをかぶっていない子どもが多くいる。



この報告を受け、7/10の朝会の校長講話で、登下校について話をしました。（一部抜粋）

今日話をしたのは、事故が起きてからでは遅く、そして、事故は誰に起こるかは分からないからです。学校全体で少しでも事故の可能性をなくし、悲しい思いを誰にもさせたくありません。大切なことは、一人一人の意識です。そして、事故を防ぐために大切なのは、「分団」です。「分団」のおかげで、下級生の方は、自分では気付かなかったり、気持ちが緩んだりしたときに、上級生が声を掛けてくれます。その一言で、みなさんの「命」が助かります。しかし、下級生のみなさんが言うことを聞かなかったら、上級生はどう感じるか、そして、班長や上級生が注意しなくなったら、班はどんなことになるか？下級生のみなさんは、班長や上級生の言うことを、しっかりと聞いてほしい。これは学年下校の時も同じです。そして、班長や上級生は、下級生の見本となり、信頼される班長や上級生でいてほしい。そうすれば、事故を防ぐことはできます。



この講話では、命の大切さ、事故に遭ったときの危険性、事故に遭った子どもをもつ家族の苦しみを具体的な事例を取り上げ、話をしました。そして、一人一人の「意識」の大切さと「分団」の重要性を話しました。子どもたちが、今回の講話をきっかけに、自分たちの現状を振り返るとともに、「事故を起こさないようみんなで事故を防いで行こう」という意識を高めてほしいと思います。



ご家庭でも、お子様と一度登下校を含めて交通安全について話し合いをしていただき、子どもの安全に対する意識を高めていけるようご協力をお願いいたします。